

令和2年度復興庁被災者支援コーディネート事業

開催時間

開始 13:30

終了 16:30

(受付開始は13:15)

LINK

～被災3県の「今」そして「これから」も
支え合う地域社会を目指して～

10.21

.....
WED

オンライン会議システム

「Zoom」にて開催

2011年3月11日に発生した「東日本大震災」。第1期復興創生期間終了とされる震災10年の節目を迎えようとしている今、復興が進むにつれて多様化・複雑化し、変化する地域課題に対して、どのような支援活動を展開し、「今」を迎えることが出来たのか。また「これから」予想される地域社会再生に向けて必要とされる継続支援は何なのか... 岩手県・宮城県・福島県の被災3県の各支援団体の活動を通して、被災者支援への更なる活動促進と目指すべき地域社会再生の方向性を学びます。

プログラム

- 13:30～ 開会
- 13:35～ テーマ①「コミュニティ」
- 14:15～ テーマ②「伝承×防災」
- 14:55～ 休憩
- 15:05～ テーマ③「福祉×教育」
- 15:45～ テーマ④「中間支援」
- 16:25～ 閉会

登壇者

各テーマの登壇者情報は裏面をご覧ください。

お申込み

<https://forms.gle/XErfM8kmkHgje5ux8>

上記のURLもしくはQRコードの
いずれかよりアクセスいただき、
必要事項(組織名/団体名、お名前、メールアドレス)
をご記入の上、**10月19日(月)**までにお申込みください。



共催：特定非営利活動法人いわて連携復興センター・一般社団法人みやぎ連携復興センター・一般社団法人ふくしま連携復興センター
協力：一般社団法人みちのく復興・地域デザインセンター
後援：岩手県(予定)、宮城県(予定)、福島県

問い合わせ先①:

特定非営利活動法人いわて連携復興センター(担当:瀬川)
〒024-0061
岩手県北上市大通り1-3-1 クレオンタワー7階
E-mail. segawa@ifc.jp
TEL. 0197-72-6200 FAX. 0197-72-6201

問い合わせ先②:

一般社団法人みやぎ連携復興センター(担当:佐藤)
〒980-0014
宮城県仙台市青葉区本町三丁目1番17号やまふくビル3階
E-mail. info@renpuku.org
TEL. 022-748-4550 FAX. 022-748-4552

問い合わせ先③:

一般社団法人ふくしま連携復興センター(担当:鈴木)
〒960-8062
福島県福島市清明町1-7 大河原ビル2F
E-mail. info@f-renpuku.org
TEL. 024-573-2732 FAX. 024-573-2733

登壇者

テーマ①コミュニティ 13:35~

【岩手県】

岩手大学 研究支援・産学連携センター 復興・地域創生ユニット
特任助教 船戸義和さん

2013年より岩手大学に所属。地域コミュニティ・非営利組織運営を専門とする。2011年4月よりNGO職員として復興支援に携わり、大船渡市に駐在。受益者が支援に頼らず自立するための仕組みづくりに焦点を当て、仮設住宅や災害公営住宅のコミュニティ形成などを支援。住民主体・総参加型のコミュニティづくりを提唱する。



【宮城県】

認定NPO法人つながりデザインセンター
事務局長 宮本愛さん

東京神田のまちづくりNPOにて、コラボティブハウス、マンション建替え等の企画・コーディネートに従事。2014年から仙台在住。東日本大震災被災地の集団移転事業や災害公営住宅等におけるコミュニティ形成支援に従事。現在、認定NPO法人つながりデザインセンター事務局長、東北工業大学非常勤講師を務める。



【福島県】

NPO法人みんなく
理事・福島県事業統括 赤池孝行さん

大手製薬会社を退職後、2012年に3.11被災者を支援するいわき連絡協議会を設立。2013年、NPO法人格取得。2017年、NPO法人みんなくに名称変更。この間、2014年9月より福島県(生活拠点コミュニティ形成事業)を受託し現在に至る。



【ファシリテーター】

地域社会デザイン・ラボ
代表 遠藤智栄さん

経済雑誌の編集企画、農山漁村の活性化のコンサルティング、NPOの中間支援等の活動を経て独立。現在は共創でのソーシャル・デザイン、人材育成、地域づくり、組織開発などの支援と実践を手掛けている。NPO地域社会デザイン・ラボ代表、株式会社ばとん代表取締役を務める。



テーマ②伝承×防災 14:15~

【岩手県】

認定NPO法人桜ライン311
代表理事 岡本翔馬さん

震災直後から緊急支援活動を開始。2011年5月東京での勤務先を退職し帰郷。陸前高田市を中心に各種NPO法人に携わる。認定NPO法人桜ラインを初め、NPO法人wiz、NPO法人高田暮舎、ほか防災士、岩手大学非常勤講師なども務める。



【宮城県】

階上地域まちづくり振興協議会
熊谷心さん

階上地域まちづくり振興協議会は宮城県北部「気仙沼市」の階上地区で活動中。気仙沼市地域活性化支援員として同協議会の事務局を担当。気仙沼市東日本大震災遺構を中心に語り部活動も行っている。



【福島県】

一般社団法人ヴォイス・オブ・フクシマ
理事 久保田彩乃さん

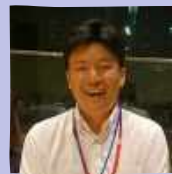
震災以降に郡山市にてコミュニティFMの運営や番組制作、富岡町の臨時災害FMの運営などに携わる。福島県の多様な声をアークアップするため、一般社団法人ヴォイス・オブ・フクシマを立ち上げ、取材活動を展開。小中学生に向けたラジオ制作やインタビュー取材を通じた地域理解教育なども積極的に取組んでいる。



【ファシリテーター】

一般社団法人みちのく復興・地域デザインセンター
理事 石塚直樹さん

新潟県中越地震被災地において、復興を契機とした地域づくりへの関わりを経て、2012年より宮城に移り、東日本大震災からの復興におけるコーディネート等に携わる。2019年より現職。2020年より東北学院大学地域連携センター特任准教授を務める。



テーマ③福祉×教育 15:05~

【岩手県】

NPO法人ワーカーズコープ 大槌地域福祉事業所
所長 東梅麻奈美さん

2012年ワーカーズコープに入団。富山県の共生型福祉と出会い、これまでの制度や福祉施設よりも人が自然にふれ合い過ぎる場所について考える。通所介護、学童保育、日中一時支援事業の共生ホームを2016年に開所。地域のサロンや子ども食堂などにも通る。支援する場所ではなくお互いが支えあえる居場所作りを目指す。



【宮城県】

認定NPO法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク
理事・プレリーダー 根本暁生さん

阪神淡路大震災での活動を契機に住民が取り組む子どもの自由な遊び場「冒険遊び場」づくりに出会い、東京での活動を経て2008年より仙台市の海岸公園冒険広場に勤務。被災後は仮設住宅等で巡回型の遊び場活動を続け、2018年7月の冒険広場再開に合わせて同公園に復帰した。



【福島県】

認定NPO法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会
センター長 米倉一磨さん

平成23年3月29日より福島県立医科大学こころのケアチームにボランティアとして参加。平成23年6月より相双保健福祉事務所臨時勤務として同活動に従事。平成24年1月よりNPO法人新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会、相馬広域こころのケアセンターなごみセンター長を務める。



【ファシリテーター】

地域社会デザイン・ラボ
代表 遠藤智栄さん

経済雑誌の編集企画、農山漁村の活性化のコンサルティング、NPOの中間支援等の活動を経て独立。現在は共創でのソーシャル・デザイン、人材育成、地域づくり、組織開発などの支援と実践を手掛けている。NPO地域社会デザイン・ラボ代表、株式会社ばとん代表取締役を務める。



テーマ④中間支援 15:45~

【岩手県】

NPO法人陸前高田まちづくり協働センター
理事長 三浦まり江さん

2012年に陸前高田まちづくり協働センター事業所に入職。2015年秋からNPO法人陸前高田まちづくり協働センター理事長を務める。「住民が主役となって活躍している地域をつくる」を合言葉に、市民主体のまちづくり活動の支援に取り組む。



【宮城県】

認定NPO法人地星社
代表 布田剛さん

2004年にせんだい・みやぎNPOセンターの職員となり、市民活動支援施設の管理運営、助成プログラムの事務局などを担当。2013年に地星社を立ち上げ、被災地で活動する団体を中心に運営の支援を行っている。



【福島県】

ふくしまこども食堂ネットワーク
代表 江川和弥さん

2017年8月に「ふくしまこども食堂ネットワーク」を設立。学校と家庭以外の第3の居場所を増やし、持続可能な運営の可能性をネットワークを通じて模索する。小学校区に一つ、第3の居場所が県内各地に広がること、子どもたちが、地域や家庭の経済状況に影響されることなく安心できる安全な居場所を手に入れることを目標にしている。



【ファシリテーター】

一般社団法人みちのく復興・地域デザインセンター
理事 石塚直樹さん

新潟県中越地震被災地において、復興を契機とした地域づくりへの関わりを経て、2012年より宮城に移り、東日本大震災からの復興におけるコーディネート等に携わる。2019年より現職。2020年より東北学院大学地域連携センター特任准教授を務める。

